

社会福祉法人名栗園

高齢者福祉施設やしお苑について

① 社会福祉法人名栗園の歴史

法人設立は 1969 年（昭和 44 年） 埼玉県名栗村（現在 飯能市）で廃校になった小学校を借り受け「特別養護老人ホーム名栗園」を開園いたしました。

飯能市出身の石井岱三（4 代目理事長）が老人ホームの必要性を行政機関等に働きかけ、特別養護老人ホーム開園につながりました。

その後、飯能市内、八潮市等に特別養護老人ホーム、居宅サービス事業所を展開しております。

1969 年 4 月	S44	特別養護老人ホーム名栗園 開園 30 名入園
1969 年 7 月 14 日	S44	社会福祉法人名栗園 認可・名栗園診療所 開設
1979 年 4 月	S54	シルバーハウス希望の園（軽費老人ホーム） 事業開始
1986 年 9 月	S61	特別養護老人ホームあしかり園 事業開始
1993 年～	H5～	デイサービス事業開始
1997 年 4 月	H9	特別養護老人ホーム名栗園→特別養護老人ホーム太行路に名称変更
1998 年 4 月	H10	高齢者福祉施設やしお苑 事業開始（委託）
2000 年 4 月	H12	介護保険法に規定する事業者指定を受ける
2001 年 4 月	H13	高齢者福祉施設敬愛園（養護老人ホーム） 事業開始（委託） 総合ケアセンター リバー・イン 事業開始
2004 年 4 月	H16	総合相談センター名栗園 事業開始
2008 年 4 月	H20	ケアセンター岩槻名栗園 事業開始

○現在の各施設定員（令和８年４月１日現在）

施設名	特別養護老人ホーム	ショートステイ
総合ケアセンター太行路	従来型 110 名	10 名
シルバーハウス希望の園	60 名	－
介護老人福祉施設あしかり園	ユニット型 80 名 従来型 32 名	8 名
高齢者福祉施設やしお苑	従来型 80 名	12 名
高齢者福祉施設敬愛園	50 名	－
総合ケアセンター リバー・イン	従来型 88 名	12 名
ケアセンター岩槻名栗園	ユニット型 100 名	18 名
合計	600 名	60 名

② 社会福祉法人名栗園の基本理念・経営方針

基本理念

老人福祉法第二条および第三条の理念を基本とし、社会福祉法人名栗園が目指す「人を人として介護する」をもって社会福祉事業を展開します。事業の運営にあたっては『誠心誠意・創意工夫』を心訓とし、質の高いサービス提供に努めます。

経営方針

- 一、 介護サービスには食事・排泄・運動・水分・環境等があります。「医食同源」を基軸としたサービスにより老化や疾病の予防・改善に努めます。
- 二、 地域福祉の増進は保健・医療・福祉の連携と地域住民の理解と協力が大切です。その拠点に施設がなれるよう努力します。
- 三、 職員は資質向上のため向学心を持って業務に向かい、専門性の高いサービスが提供できるよう努めます。

老人福祉法（基本的理念）

第二条 老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるものとする。

第三条 老人は、老齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して、常に心身の健康を保持し、又は、その知識と経験を活用して、社会的活動に参加するように努めるものとする。

2 老人は、その希望と能力とに応じ、適当な仕事に従事する機会その他社会的活動に参加する機会を与えられるものとする。

基本理念・経営方針に沿って、法人設立以来57年間にわたり高齢者の生活支援、介護を必要とするご利用者の介護に努めております。

③ 社会貢献活動

社会福祉法人名栗園では、介護サービスの提供を通じた支援に加え、地域共生社会の実現に向けて、長年にわたり地域に根差した社会貢献活動に取り組んでいます。

1982 年	S57	シルバールームふれあい開設
2012 年 5 月	H24	リバー・イン 埼玉県より学習支援事業受託
2014 年 9 月	H26	社会福祉法人社会貢献活動（あんしんセーフティネット事業） 開始
2015 年 4 月	H27	リバー・イン 川口市より学習支援事業受託
2016 年	H28	飯能地区 あしかりDEマルシェ開始
		岩槻名栗園 いきいき街づくりフェア
2017 年 10 月	H29	やしお苑 はなもも倶楽部開始 地域の高齢者の閉じこもり予防として実施しており、開始から令和8年5月まで 延べ16,336名来苑

		岩槻名栗園 カレーライスプロジェクト
2019 年	R1	リバー・イン カレー食堂
2022 年	R4	埼玉県 S D G s パートナー認証

また、被災地支援として職員の派遣を積極的に行っています。

		派遣職員	支援内容
2007 年（平成 19 年）	中越沖地震	2 名	
2011 年（平成 23 年）	東日本大震災	77 名	瓦礫の撤去・介護施設勤務など
2024 年（令和 6 年）	能登半島地震	31 名	避難所運営・訪問

④ 高齢者福祉施設やしお苑の歴史

1998 年（平成 10 年）4 月 八潮市より事業受託し、特別養護老人ホーム定員 80 名・ショートステイ事業定員 12 名・デイサービス事業・在宅介護支援センター業務を開始しました。

八潮市で初めての老人ホームということもあり、内覧会には地域の皆様に多数のご来苑をいただきました。

開苑から 2000 年（平成 12 年）3 月までは『措置制度』によるサービスの提供、2000 年 4 月からは『介護保険制度』による介護サービスの提供を行っております。2006 年（平成 18 年）八潮市より指定管理者として高齢者福祉施設やしお苑の管理を開始しました。

2007 年 10 月 八潮市より受託し、八潮市東部地域包括支援センター業務を開始しました。

特別養護老人ホームは開苑以来、2026 年 5 月までに 560 名の方が入居されました。

その他サービスの利用状況として、ショートステイは約 4000 名/年、デイサービスセンターは約 9200 名/年、居宅介護支援事業所は約 2200 名/年が利用されております。

⑤ 高齢者福祉施設やしお苑の運営方針

利用者個々の心身のご様子やご希望をふまえて、その人らしい暮らしの実現を目指して介護サービスの提供に努めております。

2001 年（平成 13 年）より、当時としては少なかったパソコンによる記録を取り入れ、データに基づく介護・根拠のある介護を目指しています。

近年では、利用者の生活の質の向上と職員の負担軽減を図るため、介護の D X 化にも積極的に取り組み、見守りカメラの導入・入浴機器の更新・A I によるケアプラン原案作成や会議録作成などを開始しています。

⑥ 高齢者福祉施設やしお苑の実績

- ・ 1998 年 4 月から 28 年間の介護のノウハウの蓄積

- ・ 経験豊富な職員

開苑時から勤務している職員 7 名（勤続 28 年）

勤続 20 年以上の職員 16 名

勤続 10 年以上の職員が 4 割

- ・ 利用者の生活の利便性を考えた増築や設備の導入

2003 年（平成 15 年）

（1）エレベーター 1 基増設

（2）1 階機械浴槽導入及び浴室の増改築

（3）デイサービスセンター休息室増築・配膳コーナー改築

（4）1 階リネン室一部改修

（5）2 階浴室機械浴槽追加設置

（6）3 階浴室機械浴リフト設置

2017 年（平成 29 年）

（1）特別養護老人ホーム全居室に間仕切り家具設置

（2）2 階浴室機械浴槽入れ替え・個浴追加設置

2022 年（令和 4 年）

（1）1 階浴室機械浴槽入れ替え

2025 年（令和 7 年）

（1）2 階浴室機械浴槽入れ替え

以上

令和 8 年 6 月 高齢者福祉施設やしお苑